

特記仕様書

第1章 業務内容

目的

第1条 本業務は、平成20年に実施する三才山トンネル有料道路橋梁修繕の本沢橋の設計業務を行うものである。

業務内容

- 第2条
- 1 本業務は本沢橋のA1橋台の支承の設計をするものである。
 - 2 現況部の現地調査を行い、仕様書に基づいた設計範囲及び貸与資料と現地との整合性を確認するものとする。
 - 3 業務を円滑に遂行するため、業務の目的、主旨を把握し、以下に示す業務を実施するための業務計画を立案する。また、竣工図書、橋梁台帳等の既存資料を借り受け、検討経過の把握、設計条件、施工条件の把握、整理を行う。
 - 4 支承については構造設計を実施し、構造の設計図、施工方法、仮設計画及び数量計算書を作成する。
 - 5 各設計項目について基本的条件の決定、整理、設計方針および計算手法、設計図の照査を行う。

成果品

- 第3条
- 1 設計業務の成果として、検討の経過及び成果を取りまとめた報告書を作成する。
 - 2 打ち合わせ協議は着手時1回、中間時1回、成果品納入時1回とするが、必要に応じて追加実施するものとするが、新たな業務の追加がない限り回数は設計変更の対象とはしない。
 - 3 成果品はA4版とし、提出部数は2部とする。なお電子ファイルとして1部を要する。

本沢橋支承 設計

作業区分

本沢橋支承設計における作業区分は以下のとおりとする。

作業区分	区分	作業の範囲
設計計画	設計計画	業務の目的・主旨を把握したうえで、特記仕様書に示す業務内容を確認し、業務概要・実施方針・業務工程・業務組織計画・打合せ計画・成果品の内容、部数・使用する主な図書及び基準・連絡体制(緊急時含む)等の事項について業務計画書(照査計画書を含む)を作成する。また、現装置の破損原因を究明し、型式を比較し詳細設計を行う。
	設計条件の確認	貸与された詳細設計図書に基づき、荷重条件等設計施工上の基本的条件を確認し、当該設計用に整理を行う。
	設計細部事項の検討	使用材料、支承条件、構造細目、付属物の型式など詳細設計に当り必要な設計の細部条件について技術的検討を加え、これを当該設計用に整理するとともに適用基準との整合を図り確認を行う。
設計計算	設計計算	設計計画で確認、検討された事項に基づき、構造、施工方法、器具などの条件を十分考慮し、支承について詳細設計を行う。ジャッキを使用する場合は上部構造の応力検討やジャッキアップによる応力集中等の検討を行い、上部構造を補強する必要がある場合には、必要な補強措置を検討、設計を行う。
設計図	設計図	構造一般図、構造詳細図、実施計画図、仮設計画図等の詳細設計図の作成を行う。(構造一般図については、既設構造物及び計画等との位置関係がわかる寸法を記入する。)
数量計算	数量計算	決定した構造物の詳細形状に対して、各工種毎に数量算出要領に基づき数量の算出を行う。
照査	照査	照査技術者は、下記に示す事項を標準として照査を行い、管理技術者に提出する。 設計条件の決定に際し、現地状況を把握し、その内容が適切であるかについて照査を行う。 設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。また施工方法の確認を行い、施工時応力についても照査を行う。 設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行い、基準との整合を図る。
報告書作成	報告書作成	設計業務の成果として、設計業務成果概要・設計計算書等・設計図面・数量計算書・概算工事費・施工計画書・現地踏査結果等について作成する。なお、設計条件・形式決定の経緯及び選定理由(構造特性、施工性、経済性、維持管理、環境の要件の解説)・構造各部の検討内容及び問題点等の主要結果・主要材料、工事数量の総括・施工段階での注意事項、検討事項について解説し取りまとめて記載した設計概要書の作成を行う。
その他	現地踏査	既設橋梁の現地踏査を行い、特記仕様書に基づいた設計範囲及び貸与資料と現地との整合性を目視により確認するものとする。また、地形等の自然状況等の周辺状況を把握し、合わせて施工ヤード等の施工性の判断に必要な基礎的な現地状況の把握を行う。
	施行計画	構造物の規模、河川の渡河条件及び、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、仮設備計画等、工事費積算に当たって必要な計画書を作成する。